



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
ケアマネみやざきNo.29
令和4年7月1日発行
発行責任者
担当理事 今別府大作

「会長挨拶」

「第16回 日本介護支援専門員協会全国大会」開催県大会長を務めております、宮崎県介護支援専門員協会の牛谷でございます。開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

さて3年前に全国大会の宮崎県開催が決定して以来、執行部では実行委員会を立上げ、準備を重ねてまいりました。それにも拘わらず、2年を超え3年目に入ってもなお新型コロナウイルス感染症は次から次へと新たな変異へと進展し、なかなか収束の兆しが見えない中での参加者募集となってしまいました。募集の最終め切が第6波から第7波へコロナ感染が拡大する頃と重なり、現地宮崎に行こうか、Web参加にしようか、迷っておられる間に日を過ごしてしまわれた方も多いのではないかと思えます。準備する側の執行部も最後まで開催方法や集客方法に議論を重ねてまいりました。皆様方もそれぞれの職場で様々な感染対策に御苦勞をされてこられたことでしょうし、今なおその真ただ中におられる事と存じます。そんな中、いやそんな時にこそ、「全国大会in みやざき」にご参加いただきました多くの方々に改めて感謝申し上げます。多くの皆さまに宮崎へ足を運んでいただき、対面での交流ができますことを楽しみに周到に準備いたしておりましたが、今回初めてハイブリッドでの開催とさせていただくことになりました。「神話と伝説のふるさと宮崎」で開催する本大会のテーマを「超克 それぞれが次の時代の先導者へ ～日本のひなた 宮崎から～」としました。



一般社団法人
宮崎県介護支援専門員協会
会長 牛谷義秀

「日本国民が健やかで安心できる生活」を実現するための社会保障制度の機能のひとつである介護保険はもとより、高齢者の皆さんが病を抱えながらも地域で安心して暮らすために享受できる医療や障害福祉分野など、医療介護福祉に関わる多職種連携の要としてハブ役を担っている介護支援専門員は今や、介護保険の存亡や国が目指す地域包括ケアシステムの構築になくてはならない極めて重要な職能であるということに関して異論のないところと承知しております。利用者の自立支援・重度化防止を主眼とした国の介護保険制度改革に対して、私たち介護支援専門員は次の時代の先導者として積極的かつ果敢に取り組んでいく必要があります。新型コロナウイルス感染症に翻弄され混沌とした環境の中でも、私たち介護支援専門員は利用者目線で「ケアマネジメント」という崇高な職務を「専門性」をもって全うしていかなければなりません。また、職能としての「社会的地位」を高め、さらには組織としてのガバナンスが強固なものになり、延いては世代を超えて魅力ある職種となるように思考を深め、そして高齢者の皆さんとの対人援助を主な業とする私たちが様々なステージで質の高いケアマネジメントができるよう、この全国大会で議論できればと考えています。

日本介護支援専門員協会は、これまで介護支援専門員の国家資格化に向けて取り組んできました。そのような中で、令和4年2月10日（木）に開催した日本介護支援専門員協会都道府県支部長会議で、介護支援専門員は「国家資格であった」事実の経緯説明が行われました。しかしながら、国家資格であったとしても社会的地位や待遇という視点に立つと、ほかの職能との違いは明らかであります。私達はこれまで、国家資格化はゴールではなく、私達の専門性を確固たるものにし、かつ「資質向上」に繋げる一つのプロセスと考え、歩を進めて来ました。介護支援専門員が国家資格であると判明した今、その歩みを止めることなく、国家資格であったという事実で今後何が変わるのか、何が期待できるのか、どのような姿を目指していくのか、そして何よりも若い人たちが「介護支援専門員という職能」に大いなる関心を持ち、ストレートに介護支援専門員になることができる道を策定し、さらに進化するために将来の介護支援専門員を考える機会として、次につながるスタートラインに位置づけていただけると幸いです。

「天孫降臨の地 ひなたの国宮崎」で開催します全国大会が、職能としてのジャンプアップの機会になることを切に希望しまして、開会にあたりましてのあいさつといたします。

(令和4年6月4日 第16回 日本介護支援専門員協会全国大会大会長挨拶より)



第16回 一般社団法人日本介護支援専門員協会 全国大会 in みやざき



令和4年6月4日（土）5日（日）に、「第16回一般社団法人日本介護支援専門員協会全国大会 in みやざき」が宮崎市のシーガイアコンベンションセンターにて開催されました。「超克 それぞれが次の時代の先導者へ～日本のひなた 宮崎から～」をテーマに、基調講演などが行われ、オンラインを含め全国から約920名の参加がありました。

初日の基調講演では、厚生労働省の笹子宗一郎課長が、地域共生社会の実現に向け「支える側と支えられる側を画一的に分けず、世代を超えてともに支えあう地域づくりを進める」と指針を示されました。また、日本介護支援専門員協会の柴口会長は活動報告の中で、「ケアマネは人生の最終段階までの伴走者であり、常に質の向上を図るという意識を心に留めてほしい」と訴えられました。その後、「闘う意義～克服する力～」と題し、本県出身で柔道全日本男子前監督の井上康生氏による特別講演がありました。

2日目は、モーニングセミナーが開催され「介護支援専門員の将来を考える」とし、牛谷会長が座長を務め、パネリストとして柴口会長、埼玉県立大学大学院の川越教授が登壇されました。介護支援専門員は国家資格であるということがわかり、その後の処遇の在り方、資格取得までのルートについて意見交換がなされました。その後は5つの分科会で、事例発表が行われました。2日間にわたり、これからの介護支援専門員について考えることができ、大変有意義な大会となったのではないのでしょうか。本大会にご参加された会員の皆様、また、ボランティア等でご協力いただいた皆様方、本当にありがとうございました。



新役員紹介

令和4年度総会での承認を得て、令和4年度からの2年間の各役員が決定いたしましたので、ご紹介いたします。



会長
牛谷 義秀

向こう2年間、本会の会長を仰せつかりました。ストレートにケアマネが誕生できる道を探求し、社会的地位の向上と待遇改善を図れるよう奮闘します。



副会長
大峯 伸一

皆様、引き続き副会長を仰せつかりました大峯です。ケアマネの資質と地位の向上を目指し全力で取り組みます。どうぞ宜しくお願い致します。



**副会長
資質向上部**
児玉 あかね

医療現場やこれまでの経験を活かし、当協会の更なる充実と拡大が図れるよう力を尽くします。よろしくお願い致します。



延岡・西臼杵ブロック
友清 英一

新しい生活様式のなかで、どの様に活動していくべきか、会員の皆様と共に模索していきたいと考えています。2年間よろしくお願い致します。



日向・東臼杵ブロック
黒木 千恵

今期は、地域の介護支援専門員の方々と共に活動し、学び、スキルアップできる環境が作れるよう努めさせていただきます。



西都・児湯ブロック
緒方 清孝

地域の介護支援専門員の皆様と共に資質向上していけるよう微力ですが頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



宮崎・東諸県ブロック
大石 美香

明るくはつらつとそれぞれの地域で活躍している介護支援専門員の皆様の課題や悩みに寄り添いながら活動がんばります！



日南・串間ブロック
長渡 史江

地域に根付いた職種を目指し、会員の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。よろしくお願い致します。



都城・北諸県ブロック
恒吉 歩

ブロックネットワークの活動を通して、会員の皆様が共に学び合いスキルアップしていく事が出来るようにお手伝いしていきます。



小林・えびの・西嶺ブロック
山毛 徹

各支部間の連携につとめ、有意義な協会の活動に貢献できればと思います。ブロックの皆様、ご協力をお願い致します。



調査研究部
児浪 俊之

前期に新設された調査研究部への再任となります。会員の皆さまが専門職として地域でご活躍できるよう務めてまいります。宜しくお願い致します。



研修企画部
大浦 栄子

更なる資質向上を目指し、専門性を磨き、会員の皆さまの自信に繋げていけるよう力を尽くして参ります。よろしくお願い致します。



介護保険部
日高 陽子

介護保険部の理事に再任され2期目を仰せつかりました。今期も事業が円滑に遂行できるよう、委員の皆さんと協力して取り組んで参ります。



法定研修部
川崎 智志

年間を通じて開催される法定研修を計画的に運営し、受講される方々にとって効果的な研修となるよう委員の皆さんと共に取り組んでいきます。



情報政策部
今別府 大作

協会活動をしっかりとお伝えし、また災害に備えて活動が展開できるように尽力してまいります。よろしくお願い致します。



相談支援部
滝本 実和

微力ではございますが、皆様のお役に立てますように、精一杯楽しみながら努めてまいります。いつもありがとうございます。



総合支援部
石川 由美

引き続き、理事を務めさせていただくことになりました。微力ではありますが、頑張りますのでよろしくお願い致します。



監事

野津原 裕

介護保険の公正中立な活用を管理し、研鑽高めながら活動する会員団体の監事として厳正に務めます。



事務局長
岡崎 浩司



雇員
嶋田 喜代子



中島 紫織

皆様の会費が適切に活用されますよう、しっかりと監査を行ってまいります。

令和4年度一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会 総会

令和4年6月19日（日）にMRTmicclにて令和4年度一般社団法人宮崎県介護支援専門員協会総会が開催され、令和3年度の事業報告及び収支決算、及び新役員について協議がなされ、すべての議案について承認されました。

新役員一同、介護支援専門員の皆様のために尽力してまいります！！



宮崎県介護支援専門員協会会員数の動向

令和4年6月現在の地域ブロックネットワーク別会員数

ブロックネットワーク別	正会員	準会員
宮崎・東諸県	593	12
小林・えびの・西諸県	94	0
西都・児湯	112	0
日南・串間	136	0
都城・北諸県	224	1
日向・東臼杵	131	0
延岡・西臼杵	155	1
鹿児島県	1	0
合計	1446	14

令和3年度の実務研修も終了し、県内においても新たなケアマネジャーが誕生していることと思います。
会員の皆様には、ケアマネジャーが魅力ある仕事であることを発信していただき、より多くのケアマネジャーの皆さんに入会していただければと思います！

編集後記

今年は例年よりも2週間程度早く、梅雨明けいたしました。暑い日が続いておりますが、体調いかがでしょうか。突然ですが、皆さんは休日をごどのようにお過ごしでしょうか。私はもっぱら、外で芝刈りをしたり、観葉植物の世話をしたりと、屋外で過ごすことが多いです。特に芝刈りは念入りにしておまして、休日はほぼ確実に芝を刈っております。目指すはゴルフ場のグリーンのような芝ですが、まだまだそこには至りません。いつの日か、素晴らしい芝生が出来上がった際には、この場で皆さんにお伝えができればと妄想しながらPCに向かっています。これからが夏本番、お体ご自愛ください 今別府